平成22年度 全国学力・学習状況調査
埼玉県全体の調査結果 中学校・国語

■埼玉県全体の正答数分布 ※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが全国の分布 横軸:正答数 縦軸:生徒の割合

■学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率(推計値)

<table>
<thead>
<tr>
<th>領域</th>
<th>話すこと・聞くこと</th>
<th>書くこと</th>
<th>読むこと</th>
<th>言語事項</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>埼玉県平均</td>
<td>全国平均</td>
<td>埼玉県平均</td>
<td>全国平均</td>
</tr>
<tr>
<td>H22</td>
<td>74.7</td>
<td>74.2</td>
<td>46.2</td>
<td>45.6</td>
</tr>
<tr>
<td>H21</td>
<td>87.5</td>
<td>86.8</td>
<td>76.0</td>
<td>72.5</td>
</tr>
<tr>
<td>H20</td>
<td>81.0</td>
<td>80.1</td>
<td>81.0</td>
<td>81.3</td>
</tr>
<tr>
<td>H19</td>
<td>89.7</td>
<td>90.1</td>
<td>73.4</td>
<td>64.4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

問題形式

<table>
<thead>
<tr>
<th>領域</th>
<th>選択式</th>
<th>稲答式</th>
<th>記述式</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>埼玉県平均</td>
<td>全国平均</td>
<td>埼玉県平均</td>
</tr>
<tr>
<td>H22</td>
<td>71.4</td>
<td>71.2</td>
<td>76.3</td>
</tr>
<tr>
<td>H21</td>
<td>76.1</td>
<td>76.0</td>
<td>71.0</td>
</tr>
<tr>
<td>H20</td>
<td>71.5</td>
<td>71.3</td>
<td>70.9</td>
</tr>
<tr>
<td>H19</td>
<td>83.7</td>
<td>84.2</td>
<td>80.2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

埼玉県全体の調査結果中学校・国語

抽出調査であることを踏まえ、平成22年度の平均正答率は、すべて推計値で示している。

■中学校国語の状況

○・相当数の生徒ができている点  ◆・課題のある点  ［  ］は出題番号を示す

話すこと・聞くこと

◇(A) 話合いの際に、目的に沿った話合いになる適切な質問を選ぶことや、話合いを効果的に展開させる発言の役割を理解することは相当数の生徒ができている。[A7一・二]  
◆(A) 表現の仕方に注意して説得力のある話をすることが課題がある。 [A3一]

書くこと

◇(A)(B) 修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直すことや、文句から必要な情報を集め資料に現れている工夫を自分の表現に役立てて書くことは相当数の生徒ができている。[A4一、B2二]

◇(A) 選択された内容、発表に関する知識などを適切に用いて分かりやすい文章に書き直すことに関心がある。[A4二、A9二]

読むこと

◇(A) 詩その和解説文の中で使われている語句の意味を文脈の中で理解することは相当数の生徒ができている。

(ii) 本文

◇(B) 文学的な文章の中で使われている語句の意味を文脈の中で理解することは相当数の生徒ができている。

(B3一)

◇(A) 論理の展開の仕方をとらえて内容を理解することに関心がある。[A8一]

◇(B) 比喩的な表現で書かれた内容について理解することに関心がある。[B3二]

言語事項

◇(A) 文脈に即して漢字を正しく読むこと、漢字の成り立ち(部首の持つ意味)を理解することは相当数の生徒ができている。

(A10二・五)

◆(A) 漢字の楷書と行書との違いを理解することに関心がある。[A10七]
平成22年度 全国学力・学習状況調査
埼玉県全体の調査結果 中学校・数学

■埼玉県全体の正答数分布
※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが全国の分布
横軸:正答数 縦軸:生徒の割合

■学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率（推計値）

<table>
<thead>
<tr>
<th>領域</th>
<th>年度</th>
<th>中学校数学A</th>
<th>中学校数学B</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>埼玉県平均</td>
<td>全国平均</td>
<td>埼玉県平均</td>
</tr>
<tr>
<td>数と式</td>
<td>H22</td>
<td>74.4</td>
<td>75.2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H21</td>
<td>65.9</td>
<td>67.3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H20</td>
<td>66.7</td>
<td>68.0</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H19</td>
<td>72.9</td>
<td>74.4</td>
</tr>
<tr>
<td>図形</td>
<td>H22</td>
<td>64.1</td>
<td>64.3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H21</td>
<td>64.8</td>
<td>64.6</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H20</td>
<td>60.8</td>
<td>62.7</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H19</td>
<td>74.1</td>
<td>75.5</td>
</tr>
<tr>
<td>数量関係</td>
<td>H22</td>
<td>52.8</td>
<td>54.3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H21</td>
<td>54.4</td>
<td>56.2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H20</td>
<td>58.9</td>
<td>60.6</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H19</td>
<td>64.3</td>
<td>65.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>問題形式</th>
<th>年度</th>
<th>中学校数学A</th>
<th>中学校数学B</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>埼玉県平均</td>
<td>全国平均</td>
<td>埼玉県平均</td>
</tr>
<tr>
<td>選択式</td>
<td>H22</td>
<td>61.3</td>
<td>61.9</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H21</td>
<td>59.9</td>
<td>60.5</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H20</td>
<td>60.8</td>
<td>61.8</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H19</td>
<td>70.0</td>
<td>70.9</td>
</tr>
<tr>
<td>短答式</td>
<td>H22</td>
<td>66.2</td>
<td>67.3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H21</td>
<td>64.4</td>
<td>66.1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H20</td>
<td>61.5</td>
<td>64.1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H19</td>
<td>70.8</td>
<td>73.0</td>
</tr>
<tr>
<td>記述式</td>
<td>H22</td>
<td>32.4</td>
<td>33.4</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H21</td>
<td>39.5</td>
<td>40.6</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H20</td>
<td>33.4</td>
<td>35.3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>H19</td>
<td>44.2</td>
<td>45.1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

抽出調査であることを踏まえ、平成22年度の平均正答率は、すべて推計値で示しています。

■中学校数学の状況
◇・・・相当数の生徒ができている点
◇・・・課題のある点
[　]は出題番号を示す

数と式
◇(A) 実生活の場面に結びついた正の数と負の数の意味を相当数の生徒が理解できている。[A1 (3)]
◇(B) 言論立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することが課題である。[B 2 (2)]

図形
◇(A) 垂線の作図の手順の理解は相当数の生徒ができている。[A4 (2)]
◇(A) 証明の意義を理解することに課題がある。[A 8]

数量関係
◇(A) 比例の関係を表す表の特徴をとらえることは、相当数の生徒ができている。[A9 (1)]
◇(A) 具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことに課題がある。[A 1 1(3)]
◇(B) 問題解決のための構想を立て実践し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
[B1 (3)]
◇(B) 事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
[B3 (2)]